

近畿地方整備局 様
淀川水系流域委員会 様

08/01/16 宇治「防災を考える市民の会」 梅原 孝

河川整備原案に対する質問及び意見

- 1、 質問回答・No.1415 への再質問 天ヶ瀬ダム再開発に伴う事業負担は、京都と大阪のみですが、再開発で最大の恩恵を受ける滋賀県がなぜ1円の負担もないのですか。
- 2、 質問回答・No.1228 への再質問 天ヶ瀬ダム再開発事業費は、330億円が430億円と100億円の増になるとのことですが、瀬田川改修費35億円、鹿跳び橋付近のバイパストンネル130億円、塔の島付近改修費91億円、槇島堤防などの強化費用25億円などの事業費の増減及び負担割合と負担金についてもお示しください。
- 3、 質問回答・No.1415 への再質問 第69回委員会審議資料で天ヶ瀬ダム再開発事業費の利水分について京都府8.8%、関電2.1%と回答されています。なぜ0.9ト/sの京都府が8.8%(38億円)で190ト/sの関電が2.1%(9億円)の負担になるのでしょうか。
- 4、 質問回答・No.1408 への再質問 流入量に対してどのように対処するのかが計画ではないのでしょうか。計画の大前提となる流入量の算出根拠は当然示すべきで、「個々に対応」で済ませるような問題ではないものです。流出係数等を公表してください。
- 5、 質問回答・No.1419 への再質問 左岸トンネルには、京都府の府営水の取水トンネルもあるのではないのでしょうか。
- 6、 質問回答・No.1411 への再質問 低周波音対策は、重大な問題です。「限られた期間での変化(現行で11日が開発後は8日になる。)」と回答されていますが、周辺では頻繁にがけ崩れも起こっています。「現在、模型実験で調査している。調査結果は数年後に出る。」とのことですが、方針決定までに対策も含めて示したうえで判断すべきです。見切り発車は絶対に止めてください。
- 7、 質問回答・No.1418 への再質問 天ヶ瀬ダムの放流能力について、再開発事業の概要パンフ(琵琶湖工事事務所発行)等では、コンジットゲート三門では計画最大放流量は840ト/sですが能力は1100ト/sとなっています。流域治水に対しては430億円もかけて日本一の放水路トンネルをつくらなくても現行で充分対応できるのではないのですか。
- 8、 第69回委員会審議資料 別添資料2-2 (3) 宇治川に対する効果について天ヶ瀬ダム再開発の無、大戸川ダム無の場合は、被害額:約1,100億円、浸水面積:約700ha、浸水戸数:約8,000戸で、天ヶ瀬ダム再開発、大戸川ダム完成後は、いずれも0になるとの説明ですが、再開発がなければ天ヶ瀬ダムからは900ト/sしか放流できず、開発後は後期放流では1,500ト/sの放流になります。放流量が増える方が被害が0になるとは。理解できません。詳細な説明をお願いします。また天ヶ瀬再開発、大戸川ダムそれぞれの有る無しでも説明してください。

以 上